

The background features a complex geometric design. A large, light gray circle is positioned in the upper left, containing a white crosshair. Below it, a smaller black circle also contains a white crosshair. A thick, dark gray curved line sweeps across the middle of the page, intersecting the circles. Another large, light gray circle is partially visible in the lower right. The overall aesthetic is clean and modern, using a grayscale palette with a touch of pink in the bottom right corner.

CYLINDER ACE

シリンダ
エース

E-120

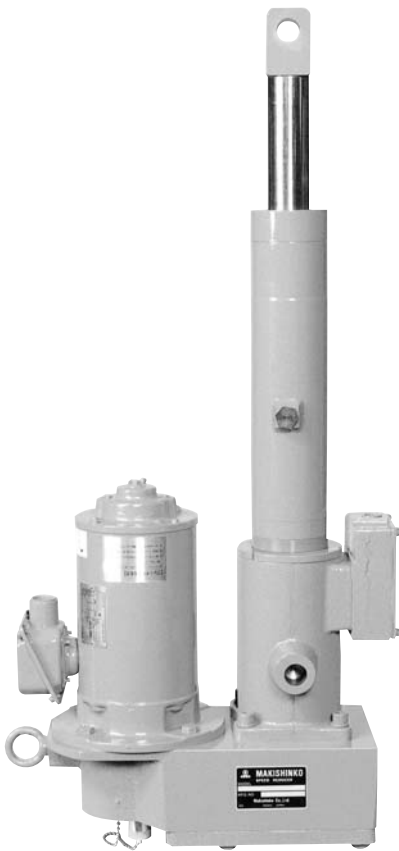
INDEX

特長E-122
主仕様E-122
付属仕様E-122
機種一覧E-123
構造E-124
呼び形式・選定E-125
外形寸法図 E-126~128
据付・保守・ご照会表E-129

CA SERIES

シリンダエース

シンプル、コンパクト、セフティ、ストロング、メンテナンスフリー等の機能を備えた高性能直線作動機（電動シリンダ）シリンダエースがシリーズ化しました。



特長

●軽量化

簡単な機構の採用により軽量化を実現。

●コンパクト・高剛性

緻密な設計及び最適な材料使用によりコンパクトと高剛性を実現。

●安全重視

環境に優しい安全重視の堅実構造。

●メンテナンスフリー

密封形グリース潤滑のため、清潔で長時間メンテナンスフリー。

●安定動作

高性能のねじ・ナットや歯車の使用により、小電力で安定動作。

主仕様

●標準仕様

構造	全閉屋外形
周囲温度	-15℃~50℃
相対湿度	85%以下
電源	3相200V/220V、 又は400V/440V、50HZ/60HZ
絶縁級	E種
時間定格	30分
負荷時間率	25%ED
塗装色	マンセル 5.5PB5.5/9 近似

※粉塵の多いところではジャバラ付をおすすめします。
ジャバラ材質 ネオプレン 耐熱 80℃

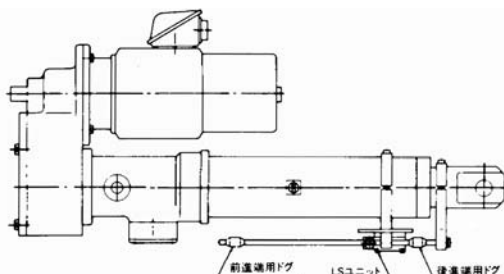
●特殊仕様

雰囲気	腐蝕しやすい環境の場合はエポキシ系塗料による第3種防蝕まで製作できます。
周囲温度	低温グリース又は高温グリースや部品の変更により-40℃~100℃まで可能です。
絶縁級	B・F・H級もできます。
防爆	防爆仕様モーターやリミットスイッチの採用により製作できます。
回転防止	標準はピストンロッドが回転します。 負荷側で回転防止構造ができない場合はご指定下さい。
ジャバラ耐熱	耐熱 150℃、300℃仕様のもので製作できます。

付属仕様

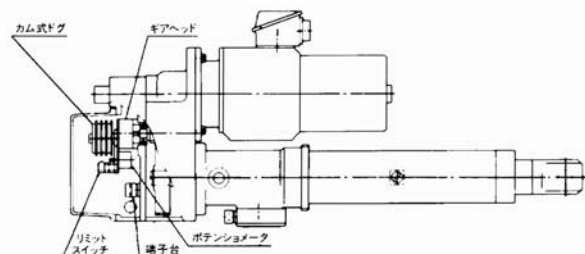
●外部LSユニット

推力リミッタを使用せずに外部のリミットSWで停止させる場合は、外部LSユニットを取付できます。



●位置検出ユニット

内蔵の位置決め用リミットSWや位置表示用のポテンショメータを設ける場合、CAシリーズに位置検出ユニットを設けることができます。



機種一覧・構造

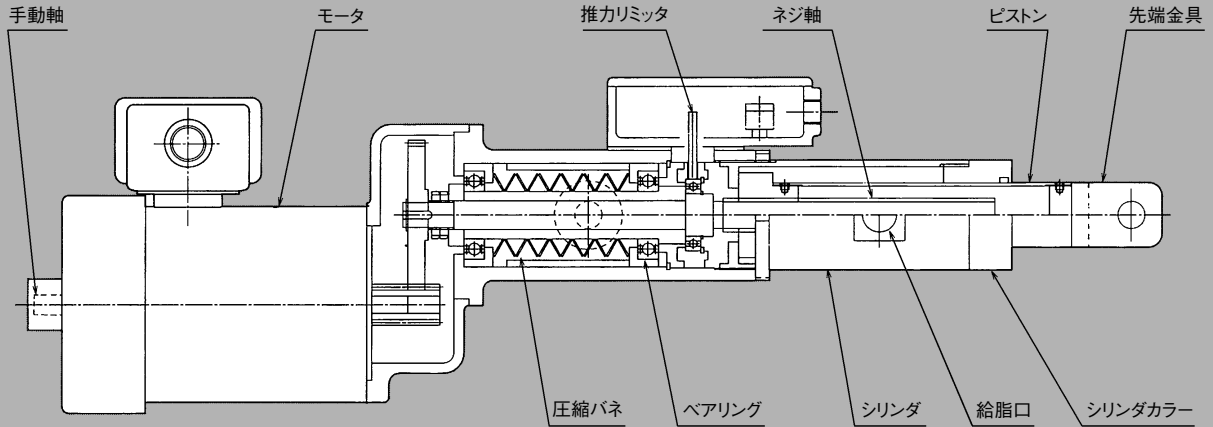
機種一覧

形状	形式	推力	移動速度	モータ容量	ロッド回転力	ねじ形式	標準ストローク
		k.N (ton)	(mm/sec) [50/60Hz]	(kW)	N·m (kg·m)		(mm)
ストレート形	CAELO01B	0.98(0.1)	75/90	0.2	2.9(0.3)	台形	100~700
	CASL001B	0.98(0.1)	25/30	0.2	2.9(0.3)	台形	100~700
	CASL003B	2.94(0.3)	25/30	0.2	8.3(0.85)	台形	100~700
リ タ イ ン 形	CARL001B	0.98(0.1)	9.7/11.6	0.2	2.9(0.3)	台形	100~700
	001BV		24.8/29.7	0.2	2.9(0.3)	台形	
	CARL003B	2.94(0.3)	9.7/11.6	0.2	8.3(0.85)	台形	100~700
	003BV		24.8/29.7	0.2	8.3(0.85)	台形	
	CARL005B	4.9(0.5)	9.4/11.2	0.2	13.7(1.4)	台形	200~1500
	005BV		25/30	0.2	19.6(2)	台形	
	005C		44.6/53.5	0.4	19.6(2)	台形	
	CARL010C	9.8(1)	9.4/11.2	0.4	27(2.8)	台形	200~1200
	010CV		25/30	0.4	39(4)	台形	
	010CX		23/28	0.4	8.8(0.9)	ボール	
	010D		43/51.5	0.75	39(4)	台形	
	010DV		50/60	0.75	15(1.5)	ボール	
	010E		100/120	1.5	17(1.8)	ボール	
	CARL020D	19.6(2)	9/10.9	0.75	67(6.8)	台形	200~1000
	020DV		24.2/29	0.75	78(8)	台形	
	020DX		23.7/28.5	0.75	39(4)	ボール	
	020DY		24.5/29.4	0.75	39(4)	ボール	
	020E		42/50.5	1.5	78(8)	台形	
	020EV		48.4/58	1.5	39(4)	ボール	
	020EX		50/60	1.5	39(4)	ボール	
CARL040D	39.2(4)	12.5/15	0.75	78(8)	ボール	200~1500	
040E		25/30	1.5				
040F		36.2/43.4	2.2				
040G		61.6/73.9	3.7				
CARL060E	58.8(6)	15/18	1.5	118(12)	ボール	200~2000	
060F		25/30	2.2				
060G		42/50	3.7				
CARL080E	78.4(8)	12.5/15	1.5	216(22)	ボール	200~2000	
080F		20/24	2.2				
080G		30/36	3.7				
080H		43/51	5.5				
CARL100F	98(10)	15/18	2.2	275(28)	ボール	200~1500	
100G		25/30	3.7				
100H		37.5/45	5.5				
CARL120F	118(12)	11/13	2.2	343(35)	ボール	200~2000	
120G		18.5/22	3.7				
120H		30/36	5.5				
CARL160F	157(16)	8.3/10	2.2	637(65)	ボール	200~2000	
160G		15/18	3.7				
160H		20/24	5.5				
160I		32/38.4	7.5				
CARL320G	314(32)	8/9.6	3.7	1274(130)	ボール	200~2000	
320H		11/13.2	5.5				
320I		15/18	7.5				
320J		20/24	11				

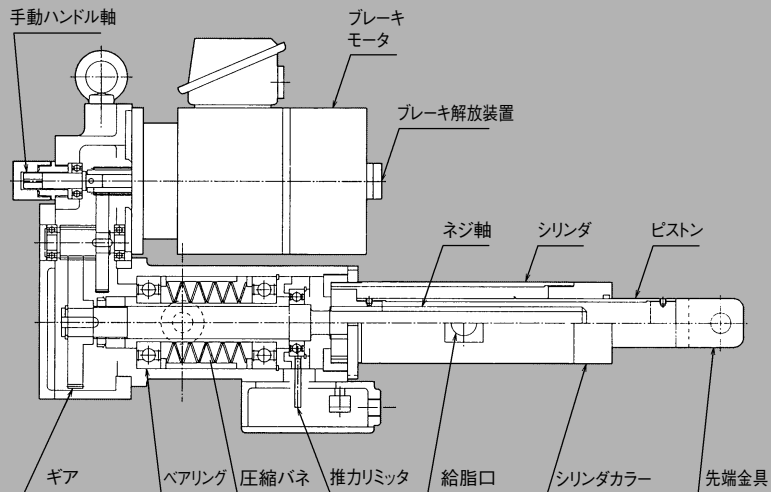
※移動速度=移動量/rev×入力回転数/60 (mm/sec)
 ※ロッド回転力と入力軸トルクは、定格推力時の値です。

構造

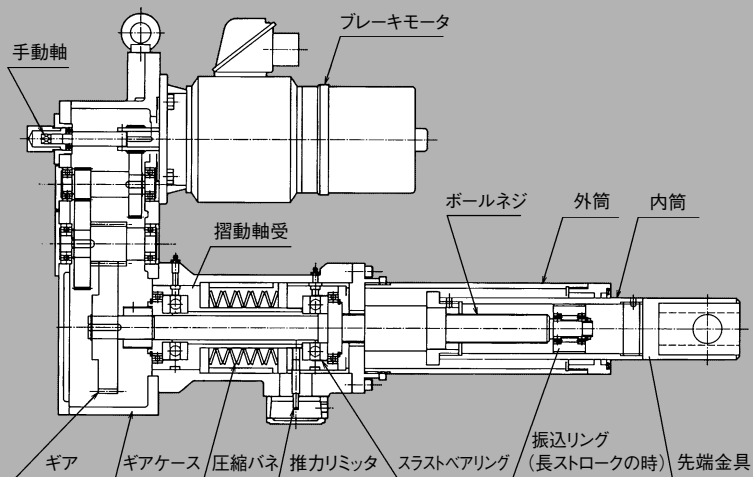
CASL001B~003B



CARL001□~020□

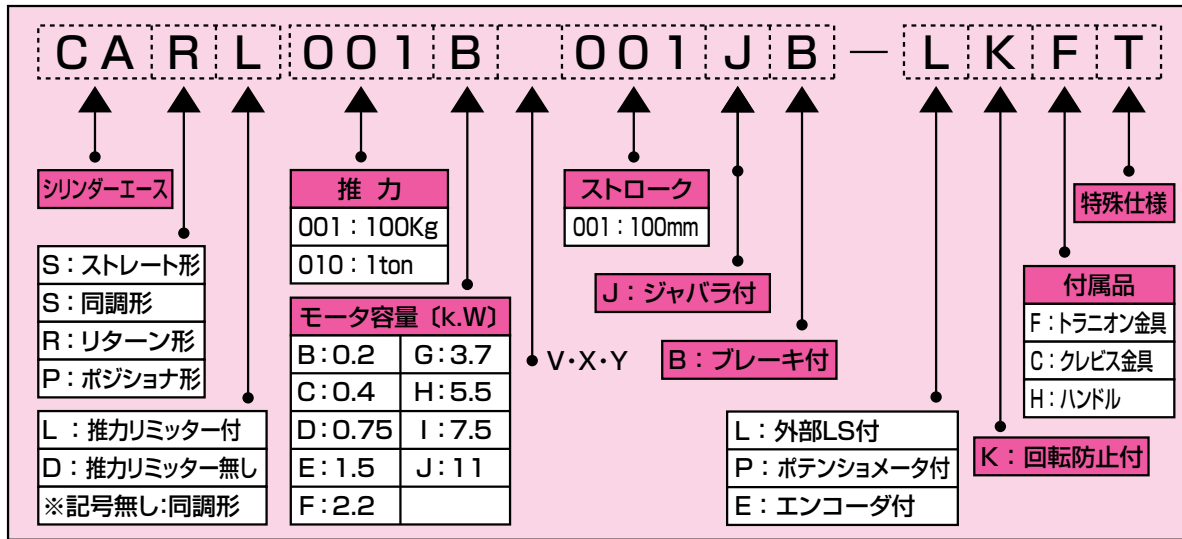


CARL040□~320□



呼び形式・選定

呼び形式



※CARL001B(ストレート形100kg)のみエコノミータイプの設定があります(E-123参照)。この場合呼び形式をCAEL001Bとしてください。

選定

選定は、つぎの順序で行って下さい。選定に必要な条件は(E-129)(表11)をご参照下さい。

●選定手順

- シリンダに必要な推力を求めます。重量物を移動する場合は、右の(式1)と(表4)をご参照下さい。
- 使用機械や負荷の性質により(表5)より使用係数を求めます。
- 推力または荷重から補正推力を求めます。2台以上連動する場合は連動係数(表6)を乗じて下さい。
- 補正推力とストローク・速度・電源電圧・周波数をもとに、機種一覧(E-117)より適用形番を選定して下さい。

●使用頻度

- シリンダースは、モータの正逆回転で往復動作をします。運転頻度はモータの熱容量により一定の限界があります。運転頻度は(表7)の起動回数以下になることをご確認下さい。1往復は、起動回数2回になります。
- 負荷時間率は、25%EDを満足することをご確認下さい。
- やむを得ず上記条件を満足できないときはご相談下さい。検討させていただきます。

●設定推力

- シリンダース内のバネは予圧して組込んであります。
- 推力リミッタのLSがONするときは予圧時より更にバネが圧縮された状態で、定格推力の120~130%のときに働きます。
- 実際に停止したときは、信号が出た後わずかに惰行していますので、相手を押しつける力はそれから更に大きくなります。押し付停止でご利用になる場合は、相手装置の強度は定格推力の250%以上として下さい。

●惰行距離と停止精度

- リミットSWまたは停止ボタンが作動して停止するまでの距離を惰行距離といい、荷重のかかり方や制御回路で、異なります。
- 停止精度は、停止線繰しのバラつきをいいます。速度が早いほど惰行距離が長くなり、停止精度も悪くなります。
- 停止精度は(表8)をご参照下さい。

●ブレーキ

- シリンダースに使用されるブレーキモータのブレーキトルクは150%以上です。ブレーキ力が定格推力以上のため荷重保持には安心して、使用できます。
- スプリング制動式電磁ブレーキのため、停電時でも荷重を保持します。
- 0.2kWをのぞき、手動解放装置が設けられています。0.2kWの場合は、解放装置がありませんので、そのまま手動ハンドル操作をして下さい。

(表4)

速度mm/sec	K
30以下	0.1
30~70	0.1~0.25
70~120	0.25~0.4

(式1)

$$\text{補正推力} = \frac{\text{必要推力} \times \text{荷重係数} \times \text{連動係数}}{\text{シリンダ使用台数}}$$

(表5)

負荷の性質	使用係数
衝撃のない円滑な作動	1.0
軽い衝撃のある作動	1.25
大きな衝撃・振動のある作動	1.5~2

(表6)

シリンダ使用台数	連動係数
1	1
2	1.25
3	1.4
4	1.65
5	1.8
6	2

(表7)

シリンダース形式	CARLシリーズ 0.2~0.4kW	CARLシリーズ 0.75~3.7kW	CARLシリーズ 5.5kW, 7.5kW	CARLシリーズ 11kW
起動回数(回/min)	5	4	3	2

(表8)

制御方法	ブレーキ同時切り		ブレーキ別切り	
荷重方向	押上荷重	吊下荷重	押上荷重	吊下荷重
±停止精度(mm)	±0.04	±0.06	±0.02	±0.04
速度(mm/sec)				

(例) 同時切りで押上荷重の場合、30mm/secの速度シリンダは停止精度が±1.2mm(±0.04×30)となります。

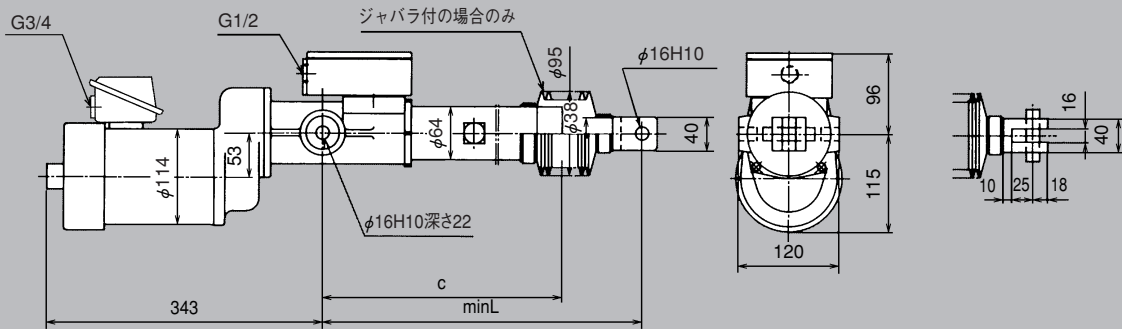
シリンダース

外形寸法図

CAseries

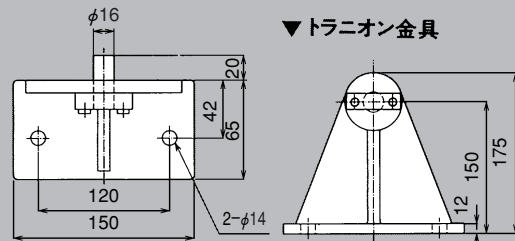
CASL001B CASL003B

※モータ部は変更する場合がありますので都度御照会下さい。



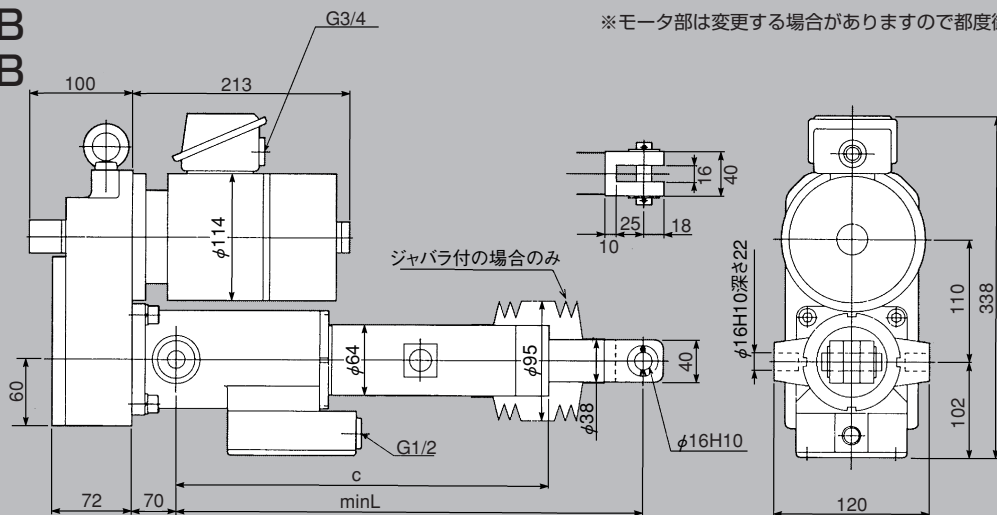
100kgタイプにはストレート形のエコノミータイプもあります。

ストローク	C	ジャバラなし		ジャバラ付	
		min L	質量	min L	質量
100	238	308	31	308	31
200	338	408	32	408	32
300	438	508	33	508	33
500	638	708	34	785	35
700	878	948	35	1061	37

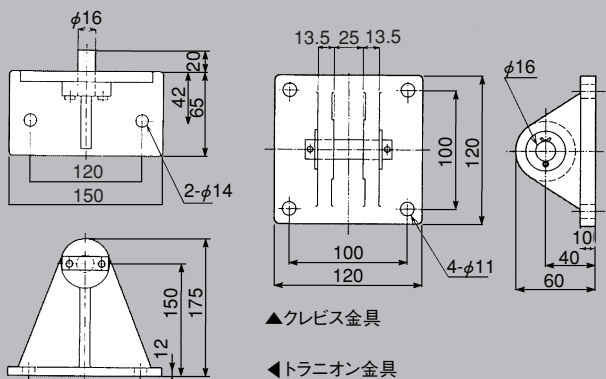


CARL001B CARL003B

※モータ部は変更する場合がありますので都度御照会下さい。



ストローク	C	ジャバラなし		ジャバラ付	
		min L	質量	min L	質量
100	238	308	32	308	32
200	338	408	33	408	33
300	438	508	34	508	34
500	638	708	36	785	37
700	878	948	39	1061	41

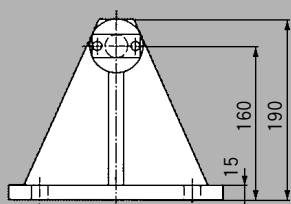
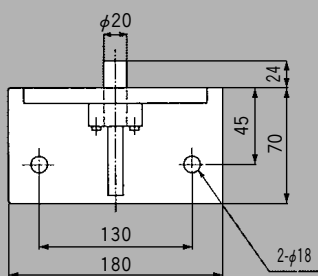
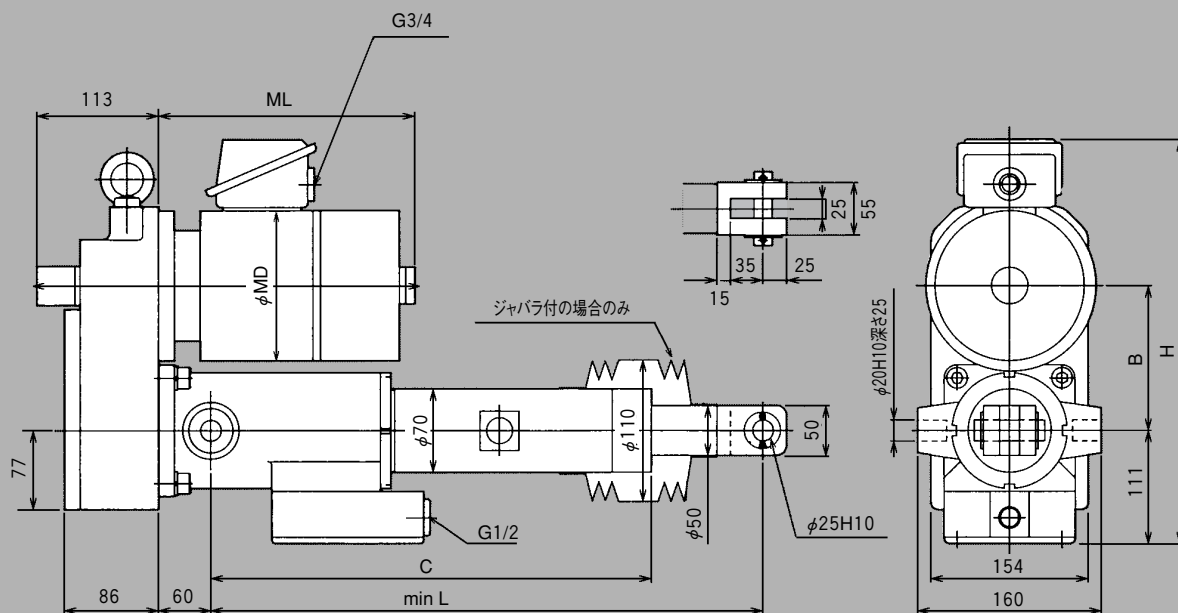


シリンダ
エース

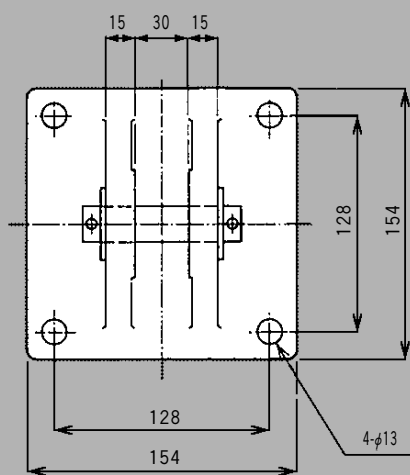
外形寸法図

※モータ部は変更する場合がありますので都度御照会下さい。

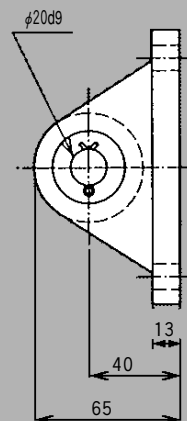
CARLO10
CARLO05



▲トランニオン金具



▲クレビス金具



型番	B	H	MD	ML
CARL005B	135	371	114	222
CARL005C	135	376	127	277
CARL010C	135	376	127	277
CARL010CV	135	376	127	277
CARL010D	156	404	142	292

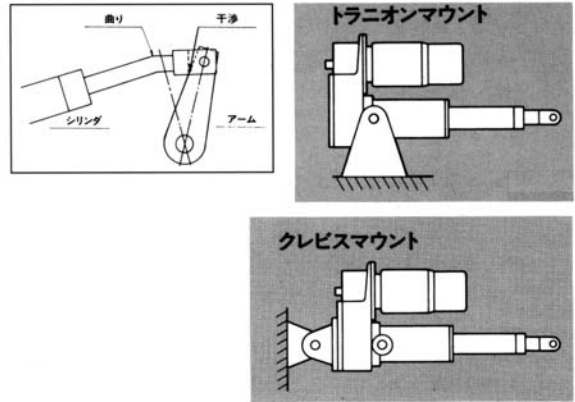
ストローク	C	min L		ジャバラなし概略質量 (kg)					ジャバラ付 質量増加 (kg)
		ジャバラなし	ジャバラ付	CARL005B	CARL005C	CARL010C	CARL010CV	CARL010D	
200	378	473	473	40	47	43	48	68	—
300	478	573	573	43	48	46	51	70	—
500	678	773	840	46	51	52	55	75	0.23
700	918	1013	1116	50	55	54	59	80	0.36
1000	1218	1313	1499	54	59	60	65	85	0.65

シリンダ
エース

据付・保守・ご照会表

据 付

- 取付方向は水平・垂直・傾斜など自由です。
- 本体取付方法はトラニオンマウントまたはクレビスマウントを採用して下さい。
- 先端部は、トラニオン・クレビスピンと同方向のピン接続により行って下さい。
- ロッドに、曲り荷重が発生するのを防止するために、ピンに対して半径方向の据付位置精度を特に十分チェックして下さい。
- 先端金具と相手機械との幅方向のはめ合は、できれば1mm以上のすき間ができるぐらいのアソビを設けて下さい。
- 接続相手がアーム等の場合は、アームと先端金具の逃し部が干渉して、ロッド曲り事故が発生することがあります。アーム形状をご配慮下さい。先端金具特殊形状も製作致します。



保 守

CAシリーズシリンダエースはあらかじめグリースを注入しておりますので、そのままご使用下さい。グリースの油種及び給脂サイクルは次の通りです。

- 送りネジ部
ネジ及びナット部におらかじめ塗布して納入しています。給脂サイクル及び推奨グリースは表9及び10をご参照下さい。
- スラスト部
ラジアルベアリングは、グリース封入タイプを使用しています。スラストベアリングとラジアルベアリングとの組合せタイプはグリースニップルより注入して下さい。
- ギアボックス
グリースを充填しています。通常1年以上の使用に耐えますので、給脂の必要ありませんが、長時間使用または放置すると潤滑効果が低下しますので、点検給脂して下さい。

●給脂サイクル (表9)

使用頻度	給脂サイクル
500~1,000回/日	3ヶ月~6ヶ月
100~500回/日	6ヶ月~1年
10~1,000回/日	1年~1.5年

●推奨グリース (表10)

会社名	グリース名称
新日本石油	マルチノック No.1
モービル石油	モービラックス EP1
出光興産	ダフニーエポネックス No.1
コスモ石油	ダイナマックス No.1
昭和シェル石油	アルパニア EP1

ご照会表

(表11)

●使用機械				
基本諸元	1. 作用荷重 (推力)	常用	(kg)、最大 (kg)	
	2. 作動速度	mm/sec (50Hz、60Hz)		
	3. ストローク	実ストローク	(mm)、最大ストローク (mm)	
電動機	4. 種類	かご形、時間定格 (30分、連続) 直流、防爆形 (耐圧・粉塵・安全増) 絶縁級 (E・B・F・H)	その他	
		5. 電源	三相200V、400V、50Hz、60Hz 220V、440V 単相100V、50Hz、60Hz	過負荷安全装置
			取付方法、その他条件	外部リミットSW
使用期間	6. 使用頻度	往復/分	起動/分	
	7. タイムサイクル			
	8. 運転時間	時間/日	時間/年	
雰囲気	9. 周囲温度	℃		
	10. 粉塵の有無	一般工場内 粉塵多		
	11. 設置場所	屋内、屋外、防爆		

シリンダ
エース